

平成25年度第1回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）

1 開催日時 平成25年4月18日（木）午後2時～4時

2 開催場所 中央図書館 2階 視聴覚室

3 出席者

（委員）

舟田委員長、杉山副委員長、佐藤委員、松木委員、西岡委員、土井委員、布施谷委員、宮本委員、工藤委員、山崎委員

（事務局）

教育長、生涯学習部長、生涯学習課長、郷土博物館長、青少年センター主幹、市民スポーツ課長、運動公園スポーツ施設整備課長、高洲公民館長、中央公民館長、堀江公民館長、富岡公民館長、美浜公民館長、当代島公民館長、日の出公民館、中央図書館長、青少年課長補佐、生涯学習係

4 議題

（1）協議事項

1）平成25年度社会教育関係団体活動補助金の交付予定について

（2）報告事項

1）社会教育関係団体の解散の報告について

2）平成24年度事業報告について

3）平成25年度事業計画について

（3）その他

1）次回会議日程について

5 議事概要及び会議経過

（1）協議事項

1）平成25年度社会教育関係団体活動補助金の交付予定について

各所属長より概要を説明し、すべての補助金の交付について了承された。なお、会議資料について以下の修正があった。

・6ページ「新潟県大潟村派遣」を「秋田県大潟村派遣」に修正

委員からの主な質問および意見は、次のとおり。

（委員）毎年、補助金対象事業の見直しているのか。

報告を受けているだけなのか、それとも、活動内容を見て、チェックしているのか。また、補助金対象事業の基準があるのか。

（事務局）補助金交付団体が様々なイベントや活動をしているので、職員はできる限りイベントなどを実際に見て、提出された書類と照らし合わせながら確認している。

《市民スポーツ課》

（委員）浦安市体育協会と個々の協会に補助金を支出しているが、重複はないのか。

（事務局）重複はしていない。

（委員）浦安市体育協会へ交付された補助金は、個々の協会に配られるのか。

- (事務局) 均等割りの額に、県民大会等への参加状況に応じて加算して、各団体に配分している。
- (委員) 浦安市体育協会に加盟している野球連盟と浦安市少年野球連盟への支出は重複しているのか。
- (事務局) 浦安市少年野球連盟への支出は、浦安市体育協会に加盟している野球協会とは別の内容の補助金である。

《青少年課》

- (委員) ボーイスカウト浦安第1団、第2団とガールスカウト千葉県第60団、第80団では人数が異なるのに、補助金交付額は同じである。その理由は。
- (事務局) 補助金は、人数一人あたりではなく、事業に対する補助金である。
- (委員長) 子ども会の人数は増えているのか。
- (事務局) 新たに子ども会をつくりたいという要望があるものの、現状は横ばいとなっている。

(2) 報告事項

- 1) 社会教育関係団体の解散の報告について
生涯学習課長より報告した。
- 2) 平成24年度事業報告について
各所属長より概要を報告した。
委員からの質問および意見は、次のとおり。

《青少年センター》

- (委員) 教育長あいさつの中で、いじめの件数はそれなりにあるということであったが、その件数はどこで行っている相談件数のことか。
- (事務局) 学校で、学級の先生等が受けた相談件数である。
- (委員) P24(3) 補導の学職・行為別人数の表に「たむろ」とあるが、時間帯はあるのか。
- (事務局) 学校の時間帯を除いた時間である。
- (委員) 授業中にたむろしていれば問題である。小中学生が喫煙しているなどの問題行動があれば「たむろ」になるかもしれないが、放課後に仲間で集まっているだけであれば、それは「たむろ」といえるのか。
- (事務局) 集団の内、数名が喫煙している場合、現認できた人数のみ「たばこ」としてカウントする。その他は「たむろ」とカウントしている。また、市民から通報があった場合も「たむろ」としてカウントしている。
- (委員) 夜間ゲームセンターの時間帯とは、何時なのか。
- (事務局) 健全育成条例等の法令に基づいた時間となっている。
- (委員) 高校生の夜間ゲームセンターの補導件数はゼロである。警察の資料は、おそらく23時過ぎの補導活動もあるので、たくさんあるのか。青少年補導員が行っている夜間パトロールはあるのか。

- (事務局) 補導員の夜間パトロールは、夏休み期間中に実施しているが、基本的に23時以降のパトロールは実施していない。したがって、青少年センターと警察の数値の違いは、「日中活動が中心の青少年センター」と「夜間も実施している警察」との違いの差である。
- (委員) 補導件数が、平成24年度は平成23年度に比べて倍増している。このことは、東日本大震災が影響しているのか。
- (事務局) 東日本大震災が原因ではない。一般市民から、自転車のマナー違反などの苦情が増えていることから、下校の時間帯に合わせてパトロールを実施した。その結果、自転車のマナー違反に付随して、喫煙などの行動も把握できた。これまで把握できなかったことも把握できるようになった。
- (委員) ・相談件数は多いようで、少ない。相談は受け身ではいけない。相談しやすい環境づくりが必要である。待ち受けではなく、積極的な施策をお願いしたい。
・補導については、パトロールだけではなく、日常的に、地域住民と一緒にあって、実施することが大切である。
- (事務局) 生涯学習部では青少年センターにおいて、家庭教育指導員が相談に応じているが、その他にも、市ではたくさんの相談窓口がある。例えば、スクールライフカウンセラー、いじめ110当番、心配事相談などがある。つまり、青少年センターで全てを行っている訳ではないことをご理解いただきたい。
- (事務局) 相談しやすい環境づくりとして、毎月1回、センターだよりを発行、また、ホームページにも掲載して啓発活動に努めている。
- (委員) メール相談を実施している自治体もあるが、その様な施策は行う予定があるのか。
- (事務局) ・メール相談については、議会でも取り上げられたことがあり、指導課で検討した。顔を見ないで、メールだけやり取りをすることについては危険であると専門家から指摘があり、現段階ではメールのみの相談はしていない。
・教育委員会議では教育委員会の各所属で実施している相談を報告しているが、社会教育委員会議では青少年センターが実施している相談の報告となっている。後日、社会教育委員会議においても、教育委員会議の報告件数をお伝えしたい。
・先程、委員から相談件数が少ないとのご指摘があり、そのとおりであると思う。この報告は、相談事業の中の一部である。市ではいろいろな取り組みをしており、スクールカウンセラーの配置について県では週一日となっているが、それ以外の日は市が独自に配置している。

《中央図書館》

- (委員) 「科学で遊ぼう」事業の指導者は誰か。
- (事務局) 民間研究者で、この分野で指導経験のある方である。
- (委員) プロはポイントを押さえており、すごく面白い。子どもに科学を教えたい、好きになってもらいたいと考える科学者は多い。市内にボランティアの方がいたら、是非、活用して欲しい。

- 3) 平成25年度事業計画について
各所属長より概要を報告した。
なお、会議資料について以下の修正があった。
・43ページ「新潟県大潟村派遣」を「秋田県大潟村派遣」に修正
委員からの質問および意見は、次のとおり。

《生涯学習課》

- (委員) 市民ミュージカルは例年3月に開催しているが、今年度は2月の開催予定である。理由はあるのか。
(事務局) 3月は学校が多忙であることから2月とした。
(委員) 市民ミュージカルの稽古開始はいつからか。
(事務局) 7月から8月に稽古を開始する予定である。
(委員長) アウトリーチ事業とは何か。
(事務局) 一例だが、若手ピアノ演奏家が、子どもたちに教える研修を受けた後に、学校に出向いて、ピアノを演奏したり、楽器について教えたりして、子どもの音楽に対する興味関心を高めるものである。
(事務局) 市内で活動する若手アーティストに活動場所を提供することが目的の一つである。また、子どもたちにとっては芸術文化に触れることで興味関心を持ってもらうことができる。さらに、市民アーティストと子どもが交流することもできる。

《郷土博物館》

- (委員) 新規事業の「収蔵品展」で、平成24年度に寄贈があった資料などを展示するとあったが、郷土博物館に市民からどのような寄贈があったのか。
(事務局) 山本周五郎の青べか物語の映画のポスターや農具関係である。

《市民スポーツ課》

- (委員長) 秋田県大潟村派遣とあるが、何人派遣するのか。
(事務局) 選手20名、監督・コーチ3名で、合計23名を予定している。
(委員長) 大会の優勝チームが派遣されるのか。
(事務局) 選抜チームを予定している。

《運動公園スポーツ施設整備課》

- (委員長) 運動公園スポーツ施設の完成は何年度になるのか。
(事務局) 平成26年度に工事完了予定である。

(3) その他

1) 次回会議日程について

次回の会議は、平成25年6月20日(木)午後2時から中央図書館視聴覚室で開催する。

以上